

令和3年度 当初予算要求事業内容説明書

3款 3項 1目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち(福祉・健康・子育て)

基本施策3 高齢者福祉

施策1 住み慣れた地域での包括的な支援体制を整備します

【会計】介護保険特別会計

3款:地域支援事業費 3項:包括支援事業・任意事業費 1目:包括支援事業費

事業	44	在宅医療・介護連携推進事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
629千円	145千円	242千円	121千円		121千円

【事業の概要】

事業の概要	(1)医療介護連携における課題の把握と対応策の検討 (2)医療・介護関係者に対する相談体制の構築 (3)地域住民への普及啓発 (4)切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築・推進の4つの取組を実施します。
事業の目的	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、居宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進します。
事業の効果	地域包括ケアシステムの構成要素である医療と介護の連携を推進することで、地域の高齢者が在宅医療・介護が必要な状態になっても、安心して在宅生活を継続することができます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
7 報償費		
報償金及び謝礼金	396千円	在宅医療介護連携推進相会議委員謝礼金16,800円 委員長1人×2回 講師謝礼金 医師×1人 専門職×3人
8 旅費		
普通旅費	8千円	職員の出張に要する交通費
10 需用費		
消耗品費	32千円	コピー代 模造紙代
印刷製本費	193千円	私らしく生きるを支える手帳(5,000部)の印刷代
計	629千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和3年度計画値
連携会議実施回数	5回
市民への啓発	5回
在宅医療・介護の連携ができている機関の割合	65%